

東京病院ニュース

第34号 2012年1月1日発行



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168
ダイレクト・イン・ダイヤル 042 (491) 4134
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/tokyo/>

平成24年を迎えて

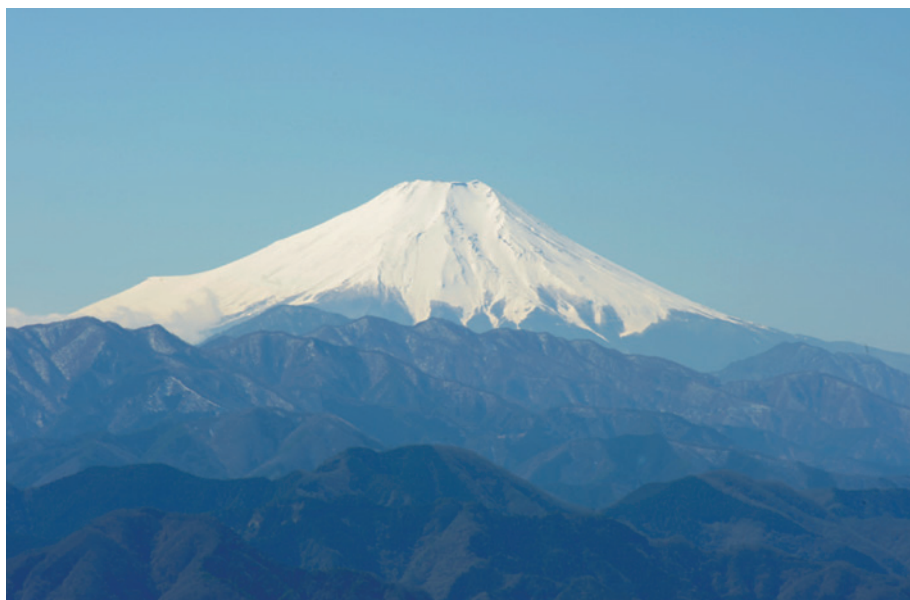
新年あけましておめでとうございます。平成24年のお正月を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

まず去年は、あの3月11日の未曾有の東日本大震災から始まり、福島第一原発の制御不能な大事故、余震を含む各地での大地震の頻発、度重なる台風による水害と土砂災害、はては海外ではタイの大洪水による多数の日本企業の被災等々、私たち日本人にとって本当に辛い日々が続きました。特に大震災でお亡くなりになられた多数の方々に心からお悔やみを申し上げますと共に、震災と原発事故で避難生活を余儀なくされている多くの方々に、心からお見舞い申し上げます。東京病院も僅かながらご支援をさせていただきましたが、機構の指示で動く病院とはいえ全く不十分な取り組みであった事は否めません。翻って東京病院内ではどうであったかという、一昨年12月に始まった電子カルテ化が落ち着くまで少なくとも半年以上かかりました。当院では幸い大震災の影響はごく軽微であり、計画停電に際しても停電は免れましたが、これらの事ごとが影響して3月～6月の入院、外来患者数が大いに落ち込み、病院経営上は大ピンチとなりました。その後患者数は徐々に普通のペースに戻りつつありますが、ただ外科系の手術件数が伸び悩み一昨年4月の診療報酬改定の利点をあまり受けていないのが気になります。また、5月には当院の旧職員による不祥事も発覚し驚愕いたしました。いっぽう昨年6月初めの日本結核病学会（中島由槻会長）は成功裏に終わり、同月末の日本病院評価機構再受審では保留無しで再認定され、東京病院の日常診療レベルの高さを示しました。

今、新年を迎えて私たち日本人は、昨年止まってしまったかに見えた歩みを、少しずつ前に向かって確実に歩き始めています。未曾有の大震災、原発事故からどのように立ち上がっていくのか、行政や東京電力の対応は当然として、各人の気力、意欲、努力にもかかっているのではないのでしょうか。

東京病院は今年1月4日に、旧国立療養所清瀬病院と旧国立東京療養所が統合して国立療養所東京病院となり50周年を迎えます。それを記念して今年1月に記念式典の挙行、記念誌の発行、病院祭の開催を行い

国立病院機構東京病院長 中島由槻
ます。50年目の初めてのことであり、寒い1月ですが多くの方々のご来場をお待ちしています。東京病院は今年4月に院長、副院長が2人とも替わります。しかしながら当院の進む道は次期院長へ引き継がれて行きます。それは経営状況の改善、少なくとも経常収支の黒字化、これは電子カルテ導入と震災による混乱で2年程度遅れましたが、平成24年度はおそらく達成すると予測されます。次に1月に循環器医が増員され4月以降には泌尿器科が常勤化し、診療科の更なる充実化が図られます。また来る平成26年4月のDPC導入を目指して、今年4月よりその準備病院となります。そして日常診療の発展を目指して救急告示病院から2次救急病院へと体制を整え、地域の要請にさらに応えなければなりません。また昨年4月に指定された災害拠点病院の体制も作り上げなければなりません。診療科としては外科系診療科にもう少し頑張ってもらいたいと思っています。なお電子カルテについては、いまだ未解決の問題があり、さらに検討を要すると思います。東京病院はもう慢性期疾患を扱っているだけではいけません。結核、呼吸器疾患、神経難病、リハビリテーション、肝疾患等の慢性的専門領域を主に扱っていた時代は終わりました。それらの高度専門領域を発展させつつ、一般診療においては救急を含め地域の要請にしっかり応える段階になってきていると思います。医師を含め病院の職員にはそのような意識を持って奮闘していただくことを期待します。



(撮影：四元名誉院長)

年男年女

今年の抱負

財務管理係 藤田 友明

新年明けましておめでとうございます。年男というのをあまり意識したことはないのですが、人生で2度目の年男を無事に迎えることができ、うれしく思っております。

私は昨年10月より東京病院で勤務し始めましたが、まだまだ分からないことも多くあり、日々の業務をなんとかこなすのが精一杯な状態です。ですので、今年は1日でも早く自分の業務をしっかりとこなせるようになり、少しでも病院経営に貢献していけるように頑張っていきたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

「六十而耳順」

統括診療部長 庄司 俊輔

新年おめでとうございます。

年男の中でも私は院内の最高齢。「アラカン」どころか「モロカン」になってしまいました。昔は早世する人が多かったので目出度かったのですが、(見た目はともかく)気分だけは青年の(つもりの)私にはとんでもない話で、昨年末は巷の辰のカレンダーを意識的に目にしないようにしていました。そこへ冷や水を浴びせるような蛇澤広報部会長からのこの原稿依頼(!)。時間切れを狙ったものの許してもらえず・・・蛇澤先生、来年は先生の番ですからね!

表題は、孔子の論語にある有名な言葉で、意味は「私(孔子)は六十歳になったら周囲の言葉を素直に聞けるようになった」とか「何を聞いても動じなくなった」のようですが、その心境には程遠いです。しかし、「あらかん」と聞いてまず「嵐寛」を思い浮かべた私は、明らかに古い人間の範疇に入ります。数え61歳は、人生最後の「大厄」とか。

この1年を皆様とともに明るく無事に過ごしたいと願っています。

新年を迎えて

呼吸器科医長 松井 弘稔

新年あけましておめでとうございます。私が当院に来たのが2005年4月ですので、今年は8年目の年ということになります。この間、睡眠時無呼吸症候群の診断と治療に携わって、次第に患者さんの数が増え、当院全体で160人程度がCPAPという治療を継続しています。睡眠時無呼吸症候群は本人の自覚症状があまりないため、まだまだ診断がついていない患者さんも多い病気です。まわりに、いびきや睡眠中の呼吸停止、昼間の眠気などの症状がある方がいましたら、呼吸器科外来受診を勧めてください。重症の病状を放っておくと、心筋梗塞や脳卒中、交通事故の危険が高まります。

新年を迎えて

整形外科医長 堀 達之

新年明けましておめでとうございます。

東京病院で早くも7回目の新年を迎えます。

整形外科は、常勤医が一人で週4日の外来担当と、毎週月曜日午後が非常勤医に来院してもらい手術日という体制で、3年目を迎えます。手術件数は少ないながらも、脊椎手術、骨折手術、関節鏡手術等、多彩に対応し、リハビリテーション科のスタッフのご協力のもと、手術からリハビリ、そして退院まで一貫して対応できる診療体制を整えています。

昨年は3月に大震災に見舞われ、社会、そして、個人的にも生活意識が大きく変わったように思います。今年も備える意識を持ちつつ、平和で明るい年になるよう祈念します。本年もどうぞ宜しく

お願い致します。

年男三度目

診療放射線技師 釋迦堂 充

あけましておめでとうございます。東京病院に転勤してきて三度目の年明けに人生で三度目の年男が廻って来てしまい、ひげののび方が一段と早くなってきたように感じる今日この頃です。

最近では放射線科の水槽の管理と同時に写真も数枚貼り出し、殺風景な科の雰囲気や緊張感を緩めることに努めています。「風景写真ばかり撮影して、業務の写真撮影がおろそかになっているのではないか。」などの指摘を受けないように、もちろん日々の撮影・治療業務に全力を注いでいきたいと思っております。

今回の年男に向けて更に精進していきます。今年もよろしくお祈り致します。

年女を迎えた抱負

看護師 佐藤 あかね

辰年生まれということ、辰のその風貌から、負けず嫌いだとか感情豊かだとか裏表がないとか、そういったイメージがあるらしい。さて、今の私はどのような人間だろう。社会人2年目も終わりを迎え看護師として、社会人として、そして一人暮らしにも少し慣れ、そろそろ自分を見つめ直す機会かもしれない。両親や先輩そして何よりも同期の支えがあり、自分の良いところ悪いところが見えてきた。2012年いま一度自分と向き合う。そして患者さんとも正面から向き合い、患者さんに今一番必要な看護ができるよう日々学び日々努力していきたい。

抱負

看護師 山口 隆皓

新年明けましておめでとうございます。

そして、初めまして。6階東病棟に勤務してい

る山口隆皓です。看護師として働き始め3年目になりました。今年が年男ということですが、フローレンス・ナイチンゲール、ジョン・レノン、金さん・銀さんなど歴史に名を残した辰年生まれの方はたくさんいるそうです。みなさんに共通しているのは、辰のように勇猛果敢にチャレンジし、辰のような圧倒的な存在感でたくさんの方に愛され親しまれています。私もステップアップの一年にし、また患者様によりよい看護をさせて頂けるよう頑張りたいです。みなさんにとっても良い一年になるよう、お祈りしています。

辰年、年女、3度目の成人式

薬剤科助手 横澤 美代子

昭和57年、東京病院に勤務して30年。昨年4月、薬剤科に異動になりました。

一年という短い間ですが、薬剤科の心あたりのいい先生方に支えられ、3月で定年を迎えます。

30年間で、建物や周囲の風景も変わってしまい、昔を知る職員の方も少ないと思います。

古き良き時代は、これまた良しとして私も第二の人生へ向かって羽ばたきたいと思っております。

新年を迎えて

看護師 児玉 君江

謹んで新年の御挨拶を申しあげると共に、被災された皆様にお悔やみ申し上げます。

私、今年で何回目かの年女になりました。

光陰矢の如くで東京病院に務める時間も月単位までになりました。残された月日を心込めて仕事に励みたいと思っております。

皆様にとって良い一年であります様、御よりお祈り申し上げます。

2012年 RST始めます

NSTなら聞いたことはあっても、RSTという言葉を知ったことがある方はまだほとんどいないだろうと思います。RSTは、呼吸サポートチーム(Respiration support team)の略です。人工呼吸器装着中の患者さんに対して、病院内のいろいろな専門家の知恵を合わせて、一人一人個別に、最適の医療、看護、リハビリ、安全安心な機器、栄養、口腔ケア、呼吸ケア、合併症予防を考え、呼吸器離脱に向けて実践していこうというのがRSTです。

更に広い範囲で、人工呼吸とまではいかないけれども、さまざまな呼吸や酸素の問題がある患者さんに対しても、直接に、あるいは病棟、外来の看護師さんを介して間接にサポートをしています。また、病院職員の呼吸ケア、人工呼吸器に関する教育研修にもかかわっています。

RSTの活動は2年以上前から行っていましたが、H22年の3月から、施設基準を満たす病院で、医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士など多職種の呼吸サポートチームにより人工呼吸器離脱に向けたカンファを行った場合に呼吸ケアチーム加算が算定できるようになりました。当院は呼吸器科で300床あり、その他の科も合わせて人工呼吸器が何台も稼働しています。中には、人工呼吸器がついていけばいいけど、外すと呼吸が充分できないという方もいます。病状の改善、環境の改善、ケアの改善、リハビリの改善で人工呼吸器を外すことが、患者さん本人のためにもなるし、全体の医療費の節約にもなるということでRSTの活動に対して、医療費が支払われるようになったのです。今年、当院も施設基準を満たすようになりました。

当院のRSTには医師、看護師、理学療法士、臨床工学技士、栄養士、歯科医師が参加しています。毎週1回人工呼吸器使用中の患者さんを多職種のチームで回診して、呼吸器離脱に向けた診療計画を作ったり、看護師の教育プログラムに参加して、

呼吸器や呼吸ケア関連の講義や実習をしたり、月1回、全員で集まって、情報交換と今後の活動について話し合ったりというのが具体的な活動です。

当院は今年で統合から50周年で、さらにそれ以前の結核療養所としての歴史もあり、伝統的に肺に病気を持っている患者さんをずっと診療しています。戦後すぐ10代、20代で肺結核に罹患したかたで、当時の最新の治療であった外科手術を当院で受けたのちに、最新の薬物治療を受けて結核を治療し、その後50代、60代で、肺結核後遺症から呼吸不全となり、始まったばかりの在宅酸素療法を当院で始めた患者さんがいます。さらに10年後にマスク式人工呼吸器による治療が開始されると、二酸化炭素が蓄積するのを防ぐために、在宅酸素療法に加えて在宅人工呼吸も開始した患者さんがいます。そして、今年からはRSTのスタートで、最新の栄養、リハビリ、呼吸ケア、口腔ケアを用いて患者さんをサポートしていきます。東京病院に行けば最善の治療、ケアが受けられるという安心感を今後も持ち続けて頂けるように、RSTという多職種のチームで頑張っていきます。

RSTリーダー 呼吸器科医長 松井弘稔



～ 50周年東京病院病院祭の開催について～

東京病院は、昭和37年1月4日に国立東京療養所と国立療養所清瀬病院が統合し、国立療養所東京病院として発足し平成24年1月4日で50周年を迎えることとなりました。

そこで、50周年を記念し1月28日(土)10:00～16:00病院祭を開催します。

この病院祭を通じ、地域の皆様、患者様、そのご家族様に、東京病院を知っていただけたらと考えております。

病院祭の内容は、無料の健康相談、骨密度測定、血管年齢測定、栄養相談、お薬相談、メンタルヘルスチェック、出店、バザー、スタンプラリー、コンサート、いきいき呼吸教室、写真展、病院・職場紹介ほか、イベント盛り沢山です。

職員一同、皆様の来場をお待ちしております。

50周年記念

 平成24年1月28日(土)
時間 AM10:00～PM4:00

国立病院機構 東京病院

病院祭

家族で健康チェックに 出掛けよう!

みなさまお誘い合わせの上
お出掛け下さい

無料体験

- お薬相談 健康相談
- 栄養相談 骨密度測定
- 血管年齢測定 身長・体重・血圧測定
- メンタルヘルスチェック

イベント

- 出店 バザー **綿あめ・ポップコーン無料配布**
(なくなり次第終了)
- コンサート
- 病院・職場紹介
- スタンプラリー **素敵な景品**
あります!
- 講演(いきいき呼吸教室)
- 写真展※
- 石田波郷 俳句展示 ~石田波郷と東京病院~
- お菓子
つかみどり
(こども限定)



当日
駐車場
無料

※展示写真募集中!病院祭で写真を展示してみませんか?
展示を希望される方はホームページで詳細をご覧ください。

主催 独立行政法人国立病院機構 東京病院
住所 東京都清瀬市竹丘3-1-1
お問い合わせ 042-491-2111

東京病院

検索

消防訓練を実施しました

11月7日（月）に当院が災害拠点病院となつてから初めての消防訓練を実施しました。

午後2時に4階東病棟のリネン庫から出火の想定で「火災発見」「初期消火」「避難誘導」などの一連の訓練を清瀬消防署の協力の下実施致しました。訓練の始まりを告げる火災警報機が院内に鳴り響くと同時に自衛消防隊員や避難誘導員が出動し、初期消火や避難誘導にあたりました。その後ははしご車での逃げ遅れ患者の救助訓練を実施し、最後

による病棟への一斉放水で締めくくりました。その他、簡単なトリアージや応急救護訓練も行いました。

「訓練の時に動けても実際の災害で動けなかったら意味がない」これは消防署の方の言葉です。災害に遭ったときに迅速で的確な行動ができるように、訓練の時だけではなく、普段から防災について意識する必要があると感じさせられた一日でした。

管理課庶務係 飯島 慎也



【はしご車で救助】



【傷病者トリアージ訓練】



【はしご車で一斉放水の指揮を執る院長(右)】



【消防隊一斉放水】

独立行政法人国立病院機構 東京病院
外来診療担当医師表

(平成24年1月1日 現在)

〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1 TEL 042-491-2111 FAX 042-494-2168

<予約センター> TEL 042-491-2181

※平日の8時30分～15時00分

<地域医療連携室> TEL 042-491-2934 FAX042-491-2125

※平日の8時30分～15時30分 (医療機関からの問合せを除く)

【診療時間】 平日の8時30分～17時15分

【受付時間】 午前診療： 8時30分～11時00分

※再来の方は8時00分より受付

※土・日・祝日・年末年始は休診です

午後診療： 12時30分～14時00分

診療科名		月		火		水		木		金	
		担当医名		担当医名		担当医名		担当医名		担当医名	
呼吸器科	新患・再来	午前	当番医	午前	当番医	午前	当番医	午前	当番医	午前	当番医
	再来	午前	松井(弘)	午前	☆赤川	午前	永井	午前	豊田	午前	田村
			☆益田		大島		長山		鈴木(純子)		松井(弘)
			鈴木(純子)		川島		赤司		☆益田		和田
		午後	鈴木(淳)	吉田	川島	山根					
			鈴木(純一)	☆赤川		☆田村					
				☆日下		日下					
	間質性肺炎				午前	赤川					
	非結核性抗酸菌症				午前	倉島					
	いびき・COPD	午前	当番医	午前	当番医	午前	松井(弘)	午前	当番医	午前	当番医
	咯血			午後	☆益田						
	セカンドオピニオン(肺がん)							午後	☆田村		
感染症							午後	永井			
								益田			
								川島			
禁煙			午後	松井(弘)							
消化器科	新患・再来	午前	当番医	午前	当番医	午前	当番医	午前	当番医	午前	当番医
	再来	午前	上司	午前	田中	午前	☆矢倉	午前	☆上司※1	午前	☆矢倉
		午後	☆瀬尾	午前	☆井利			午後	☆時田	午後	田中
	糖尿病	新患・再来						午後	☆矢倉		
							午後	☆滝澤			
循環器科	新患・再来	午前	当番医	午前	当番医	午前	当番医	午前	当番医	午前	当番医
	再来	午前	☆小川			午前	高木	午前	☆岡橋	午前	松永
神経内科	新患・再来	午前	城山	午前	栗崎	午前	栗崎	午前	栗崎	午前	中村
					相澤	午後	☆相澤				
	ものわずれ					午後	☆栗崎				
高次脳機能障害							午後	☆栗崎			
呼吸器外科	新患・再来	午前	当番医	午前	井上(雄)	午前	桑野	午前	中島	午前	竹内
	再来									午前	上野 日野
消化器外科	新患・再来	午前	当番医	午前	後藤	午前	当番医	午前	当番医	午前	後藤
			趙	午後	伊藤		趙		中田	午前	元吉
肝胆膵外科										午後	☆元吉
リハビリ テーション科	新患	午前	濱田	午前	伊藤(郁)/濱田	午前	伊藤(郁)			午前	新藤
	再来	午前	伊藤(郁)	午前	新藤	午前	佐藤			午前	濱田
	地域リハビリ相談							午前	☆新藤		
眼科	新患・再来	午前	山田	午前	山田	午前	山田	午前	山田	午前	中山
			中山		中山		中山		中山		
整形外科	新患・再来	午前	☆堀	午前	堀	午前	堀			午前	堀
アレルギー科(喘息)	新患・再来	午前	庄司	午前	大島	午前	庄司	午前	庄司	午前	大島
放射線科	新患・再来									午前	三上
泌尿器科	新患・再来	午前	浅野							午後	實重※2
耳鼻咽喉科	新患・再来			午前	当番医						
緩和ケア科	新患							午前	三上	午前	永井
総合内科	新患	午前	茅野	午前	相澤	午前	瀬尾				

☆：予約の患者さまのみの診療です

※1：第2・4木曜日でのみの診療です

※2：受付は12時30分～14時30分までとなります

専門外来案内

専門外来名		診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください
呼吸器関係外来	禁煙 (予約制)	火(午前)	タバコがどうしてもやめられない方。 (当院の禁煙外来は、平成20年1月より保険が適用となりました。)
	肺がんセカンドオピニオン (予約制)	木(午後)	肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。[1時間まで10,500円]
	喀血 (予約制)	火(午後2時~)	咳をともなって気道・肺から出血する状態を喀血といいます。肺アスペルギルス症、気管支拡張症、非結核抗酸菌症、肺結核、肺癌の患者さんにおこります。ご相談ください。
	間質性肺炎	水(午前)	この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。治療が難しく、膠原病に合併する場合があります。
	非結核性抗酸菌症	水(午前)	咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。
	いびき COPD (睡眠時無呼吸症候群の検査)	月~金(午前)	ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを御希望の方。
ものわすれ外来	水(午後)	最近ものわすれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。 (あらかじめ神経内科を受診して下さい。)	
高次脳機能外来	木(午後)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など(要神経内科外来受診)。	
肝胆脾	金(午後)	肝臓癌、胆嚢癌、胆管癌、膵臓癌や胆石症など、肝胆脾疾患の手術のご相談、お申し込み、セカンドオピニオン等に、専門の医師が対応いたします。	
地域リハビリ相談	木(午前)	連携医の先生方からかかりつけの患者様で、運動・言語・嚥下機能に問題があり、リハビリテーションをご希望の方。(かかりつけ医の情報提供書が必要です。)	

診療時間 8:30~17:15
 受付時間 午前 8:30~11:00 午後 12:30~14:00
 休診日 土・日・祝祭日および年末年始(12月29日~1月3日)

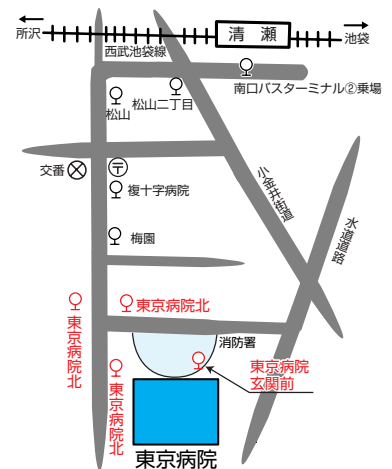
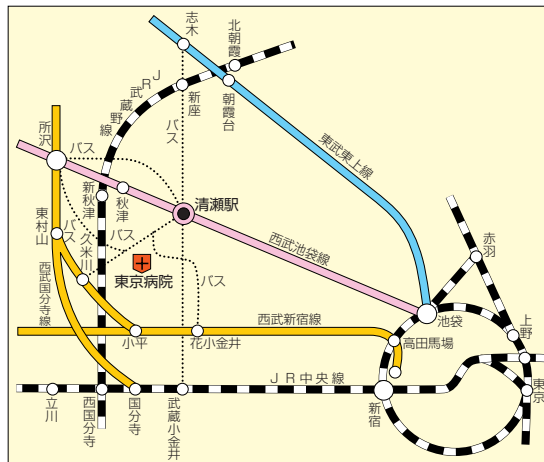
予約センター 042-491-2181
 (受付時間平日8:30~15:00まで)

医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合(医療機関)

外来診療の予約 : 診療依頼書をFAX送信して下さい FAX 042-491-2125 (8:30~15:30)
 CT・MRI検査の申し込み : 医療連携室へお電話下さい TEL 042-491-2934 (8:30~17:15)

診療内容 病床数560床

- 総合内科科
- 呼吸器科科
- 消化器科科
- 循環器科科
- リハビリテーション科科
- 呼吸器外科科
- 消化器外科科
- 神経内科科
- 放射線科科
- 麻酔科科
- 整形外科科
- 緩和ケア科科
- アレルギー科科
- 泌尿器科科
- 耳鼻咽喉科科



交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅よりタクシー10分、または西武池袋線に乗り換え。
- 西武新宿線 久米川駅北口より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車でお越しの際は正面よりお入り下さい。
 (駐車場265台)
 30分以内 無料
 31分~4時間 100円
 以後1時間毎 100円
 (20時15分~7時 1時間毎300円)

WEB検索

東京病院 検索